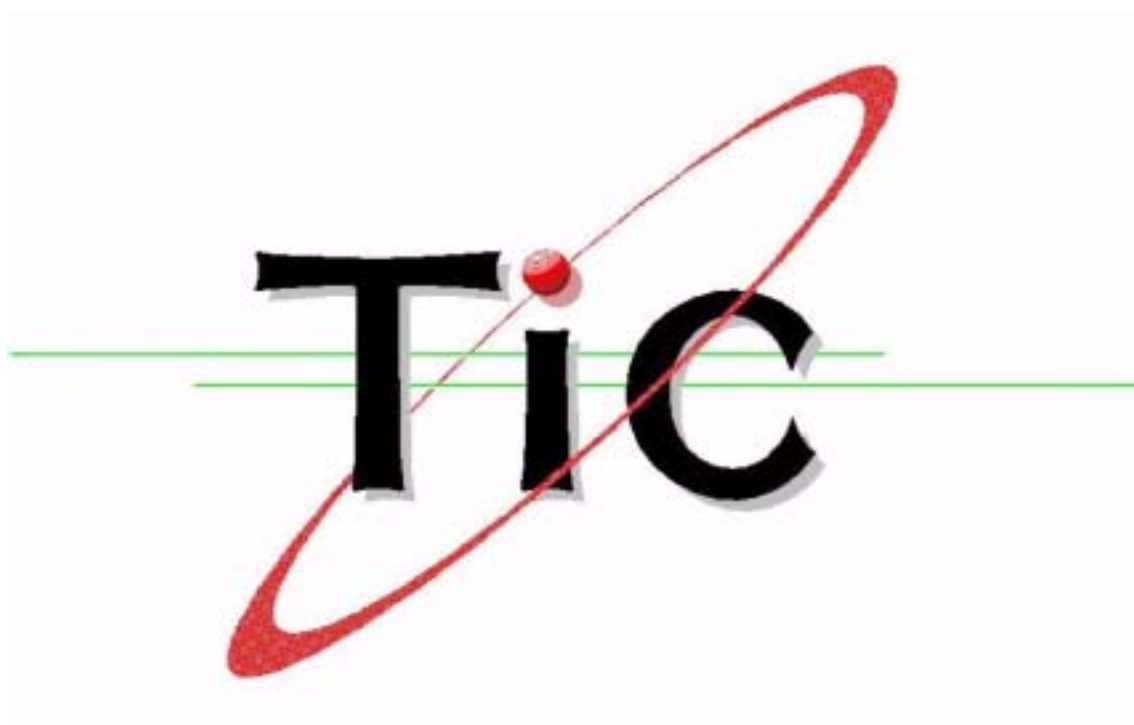


会報 | *Tokai Internet Council*



特定非営利活動法人東海インターネット協議会  
平成21年(2009年)6月発行

(表紙裏面白紙)

## 目次

---

理事長のことば .....	2
1. 東海インターネット協議会について .....	3
2. 平成 20 年度(2008 年度)事業計画書 .....	4
3. 平成 20 年度(2008 年度)事業報告 .....	5
4. 各事業の活動報告、その他 .....	10
5. 会員一覧 .....	18
6. 定款 .....	19
7. 入会申込書 .....	25
8. TIC ネットワーク関係年表 .....	26
9. 付録 WWW ページで見た地域ネットワーク協議会の動向調査 第 10 版 .....	30

## 理事長のことは

東海インターネット協議会  
理事長 中田 平

例年、東海インターネット協議会の新年度は総会と併設講演会で幕を開けます。平成20年度は、2008年5月17日(土)に、あいちベンチャーハウスにおきまして開催された総会に引き続いて併設講演会を行いました。グーグル株式会社コンテンツパートナーシップチームリーダーの牧野友衛氏に「YouTubeの現在と今後」と題して講演をお願いしました。前年は「巨大人脈をつくるSNSのチカラについて」というSNSの話題だったので、インターネットの集合知の力について、われわれの見識を深めてくれる講演が続きました。YouTubeは言うまでもなくGoogleの一部門ですが、動画のSNSとして他の同種のSNSのなかでぶっちぎりの首位の座を譲っていません。私が勤務する金城学院大学でマルチメディアセンター長として大学のメールシステムをGmailへ移行した縁で、同じGoogleのYouTube部門を紹介してもらっての講演ということになりました。それだけでなく、YouTubeに「金城ポッドウォーク」というアカウントをもって、動画SNSの可能性に期待している個人的な興味もあって、楽しく聞かせてもらいました。

Googleつながりと言えば、2009年3月14日(土)に 育才塾・セミナールームで行われた第20回オープンソースソフトウェアセミナーでは、「3時間でわかるAndroid」と題して、講師として近藤純司さん、みずのみつおさん、富永勉さんの3方に講演をお願いしました。

1.(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ/日本Androidの会・組み込みWGの近藤純司さんはAndroid、プラットフォームとしての可能性」と題して、ケータイ向けに開発されたAndroidを非ケータイ機器に活用するには何が必要かについてを話していただきました。YouTubeに当日の講演をアップロードしています。ごらんください。<http://www.youtube.com/watch?v=fweA7Owd9Q8>

2. 日本Androidの会・組み込みWGのみずのみつおさんには「Androidの開発環境」と題してエミュレータを使ったデバッグ環境のデモと、ターゲット実機を使ったリモートデバッグのデモを交えてAndroidのアプリケーションソフトウェアを開発する環境を紹介してもらいました。YouTubeは以下です。[http://www.youtube.com/watch?v=kH9YVJ\\_b4cE](http://www.youtube.com/watch?v=kH9YVJ_b4cE)

3.(有)A.PLUS/日本Androidの会 名古屋支部長の富永勉さんには「アプリ実行環境を比較してみよう ~Java VMとDalvik VM~」と題して、Javaアプリ実行環境であるPCのJava VMとAndroidのDalvik VMを比較し、違いや特徴などを紹介しました。YouTubeは以下です。[http://www.youtube.com/watch?v=j\\_wKnHkYKXg](http://www.youtube.com/watch?v=j_wKnHkYKXg)

告知期間が短いに関わらず、狭い会場は満席で盛況なセミナーとなりました。

また、2007年11月30日(日)に、第1部:「インターネット安全教室」セミナーを開催しました。「インターネット安全教室」クイズ学習、「愛知県警察本部」からのお話しに引き続いて、第2部:特別セミナーとして「いまケータイで子どもの世界に何が起きているか」について、愛知工業大学経営情報科学部情報科学科教授の阿部圭一先生にお話いただきました。

東海インターネット協議会は今後もインターネットのトレンドウォッチと並んで、市民への啓蒙活動も続けて行きたいと思っています。みなさまのご支援をよろしく願いいたします。

## 1. 東海インターネット協議会について

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、平成 14 年(2002 年)1 月 24 日、特定非営利活動法人として申請し、5 月末に法人登記を行い、特定非営利活動法人 東海インターネット協議会として前身の東海インターネットワーク協議会から生まれ変わりました。

なお、前身の東海インターネットワーク協議会(Tokai Internet Council : TIC)は、東海地区における電子計算機ネットワークの健全な発展のために、電子計算機間相互の接続(インターネットワーク)に関する技術水準の向上、およびその利用促進に寄与し、インターネットワークにより形成される産業、学術、文化などの諸分野における活動の支援を行なうことを目的として平成 4 年(1992 年)7 月 3 日に設立されたものです。

特定非営利活動法人東海インターネット協議会の目的は、定款第 3 条に示すように「この法人は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民(中小企業事業者と社員、学校・大学、身体障害者、等)に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進に寄与することを目的とする。」としております。また、特定非営利活動の種類としては、定款第 4 条で、「この法人は、前条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行ないます。

- (1) 情報化社会の発展を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

この法人の主な目的は(1)および(2)であります。が、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介を行なうため、(3)の活動を行う。」とうたっております。

特に(1)に追加された情報化社会の発展を図る活動は、平成 14 年(2002 年)暮れに改正された法律に基づく活動であることを明記しておきます。

東海インターネット協議会 平成 20 年度(2008 年度)の役員構成を以下に示します。

理事長	中田 平		
副理事長	後藤 邦夫	理事	佐宗 利幸
同	大橋 知子	同	石田 浩之
理事	水野 徳重	同	永田 圭司
同	鈴木 常彦	同	石川 雅彦
同	萩原 秀和	監事	田坂 雄一
同	江坂 昭	同	溝口 泰正

## 2. 平成 20 年度(2008 年度)事業計画書

## 2.1 事業の実施方針

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、前年に引き続き、地域市民、中小企業事業者と社員、小中高のコンピュータ教育担当教員、身体障害者に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を通じて、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展に寄与することを目的とし、次の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及事業、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発事業、学校教育へのインターネット利用の支援事業、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介事業、中小企業社員・学生・市民に対するインターネット技術の教育事業を実施する。

## 2.2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予 定場所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支 出 見込額 (千円)
(1) TIC 講座事業	ソフトウェア技術者協会名古屋支部などの東海地区の関連団体とオープンソースのビジネスへの応用を模索するために研究会を6回程度開催する	平成 19 年 6 月～20 年 3 月まで	名古屋 市内	講師 10 名	一般市民を対象 100～200 人	500
(2) ビジ ネス応用 事業	次世代ネットワークを利用した新しいビジネス応用を目的とした調査研究、セミナーなどの実施	平成 19 年 6 月～20 年 3 月まで	名古屋 市内	実行責任者 4 名	両会員および 一般市民を対象。	100
(3) インタ ーネット技 術事業	ネットワークプログラミング勉強会(OS カーネル、Socket から Web アプリケーションまで)を年 12 回程度を目標に定期的に開催する。	平成 19 年 6 月～20 年 3 月	名古屋 市内	実行責任者 5 名	会員および一 般市民を対象。 各回 10 名 程度の 参加を予定。	100
(4) TIC シ ンポジウ ム事業	「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」をテーマにシンポジウム開催	平成 19 年 5 月	名古屋 市内	実行責任者 5 名	一般市民を対 象 40 人を予定	90
(5) 福祉 啓発事業	障害者のインターネット利用活動を支援	平成 19 年 6 月～20 年 3 月まで(継続事業)	Web サ ーバー 上で公 開	実行責任者 3 名	障害者・ボラン ティア団体関係 者、その他市民 多数	50
(6) 教育 支援事業	経済産業省、日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)との共催にて、「インターネット安全教室」愛知会場の開催。「TIC セミナー」を併設して主催。インターネットを安全につかうための心構え、知識を一般市民に講習する。	平成 19 年 6 月～20 年 3 月まで(継続事業)	愛知県 内 三重県 内	実行責任者 10 名	一般市民 300 名	200

	JNSA が企画する連絡会議への参加	平成 19 年 6 月～20 年 3 月まで 2 回程度	愛知県、三重県、岐阜県、静岡県内	実行責任者 3 名	一般市民から募集する支援者 20 名。支援を受ける一般市民 200 名	70
--	--------------------	------------------------------	------------------	--------------	-------------------------------------	----

## (2) その他の事業

該当なし

## 3. 平成 20 年度(2008 年度) 事業報告

## 3.1 事業実施の概略

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進ならびに情報化社会の発展に寄与することを目的とし、次の事業を計画実施しました。

具体的には、以下のとおりです。

- (1) TIC 講座事業として Wikipedia と MediaWiki 等 オープンソースセミナーを合計 4 回実施した。
- (2) ビジネス応用事業として、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの加盟」、「新世代ネットワーク推進フォーラムの参加の検討」、「IP meeting 2008 への参加」、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラム総会への出席」を行った。
- (3) インターネット技術事業として、「ネットワークプログラミング勉強会」を 4 回開催した。
- (4) TIC シンポジウム事業として、「YouTube の現在と今後」をテーマにシンポジウムを 1 回開催した。
- (5) 福祉啓発事業として、障害者支援のための検討会および今後の進め方について検討をした。
- (6) 教育支援事業として、経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) との共催で、「インターネット安全教室」を愛知 (名古屋) で 1 回開催した。併設セミナーとして、一般市民を対象にネットワークセキュリティ啓発講座を開催した。

第 2 項 その他の事業 (収益事業) は今年度も実施しなかった。

## 3.2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

## (ア) TIC 講座事業

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成 20 年 4 月 5 日(土)	あいちベンチャーハウス	Wikipedia と MediaWiki	太田尚志 鎌滝雅久	理事 2 名	33 名
平成 20 年 8 月 9 日(土)	名古屋市立大学山の畑キャンパス	SH-Linux とコミュニティ活動とシリコンリナックスのこれまでとこれから	海老原祐太郎	理事 2 名	-
平成 20 年 8 月 9 日(土)	名古屋市立大学山の畑キャンパス	緊急 DNS 勉強会	鈴木常彦	理事 2 名	-
平成 21 年 3 月 14 日(金)	育才塾・セミナールーム	3 時間でわかる Android	近藤純司 みずのみつお 富永勉	理事 2 名	33 名

## (イ) ビジネス応用事業

ビジネス応用事業として、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの加盟」、「新世代ネットワーク推進フォーラムの参加の検討」、「IP meeting 2008 への参加」、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラム総会への出席」を行った。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成 20 年 11 月 28 日	秋葉原コンベンションホール	IP meeting 2008	吉田友哉 他	理事 1 名	
平成 21 年 3 月 18 日	東京ステーションコンファレンスサピアホール	次世代 IP ネットワーク推進フォーラム第 3 回定期総会		理事 1 名	

## (ウ) インターネット技術事業

会員ならびに一般から参加者を募集し、以下の通り 4 回、「TIC ネットワークプログラミング勉強会」を開催した。技術的に高い勉強会でプログラミング経験などを必要とするので、参加者は多くなかったが、会員 4 名、一般 1 名のべ 5 名が参加し、有用な情報交換と成果を得た。



開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成 20 年 4 月 30 日(水)	あいちベンチャーハウス	年間計画、軽量言語によるアプリケーション例、Linux Netfilter NFQUEUE	担当理事 (後藤、石川)	理事 3 名	4 名
平成 20 年 7 月 23 日(水)	担当理事宅	DNS 毒入れの危険、Linux kernel 仮想ネットワークスタック仮想化	担当理事、 鈴木理事	理事 3 名	4 名
平成 20 年 9 月 9 日(水)	TIC 事務局(育才塾教室))	合宿の計画、実験環境、軽量言語	担当理事、 参加者	理事 3 名	5 名
平成 20 年 12 月 26 日(金)	TIC 事務局(同上)	SunSpot、Virtual Box、Android	担当理事、 参加者	理事 3 名	5 名

## (エ) TIC シンポジウム事業

TIC 総会後に以下の併設講演会を実施し多数の参加を得た。

開催日	開催場所	テーマ	講師	従事者	参加者
平成 20 年 5 月 17 日(土)	あいちベンチャーハウス	YOUTUBEの現在と今後	グーグル (株)コンテンツパートナーシップ - 牧野友衛	理事 12 名	35 名

## (オ) 福祉啓発事業

福祉啓発事業として、障害者支援のための検討会および今後の進め方について検討をした。

## (カ) 教育支援事業

教育支援事業として、経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)との共催で、「インターネット安全教室」を愛知(名古屋)で1回開催した。併設セミナーとして、一般市民を対象にネットワークセキュリティ啓発講座を開催した。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成 20 年 10 月 31 日	福井県国際交流会館	第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウム やるっさ「インターネット安全教室」 in ふくい	経済産業省 黒田 俊久 他		中田理事
平成 20 年 11 月 30 日	愛知工業大学本山キャンパス	インターネット安全教室および併設セミナー	愛知県警、 愛知工業大学阿部圭一	8	50

## (2) その他の事業(収益事業)

本年度は実施しなかった。

## 3.3 会議の開催に関する事項

## (1) 総会

## (ア) 通常総会

第 1 回	
日時	平成 20 年(2008 年)5 月 17 日(土)15:00 ~ 15:40
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度事業報告の承認について</li> <li>・平成 19 年収支決算の承認について</li> <li>・平成 20 年度事業計画の承認について</li> <li>・平成 20 年収支予算の承認について</li> <li>・定款一部変更の承認について(主たる事務所の変更)</li> </ul>

## (2) 理事会

第 1 回	
日時	平成 20 年(2008 年)7 月 29 日(火) 17:40 ~ 19:45
場所	育才塾 研修室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の事業計画の詳細と担当理事</li> <li>・DNS 脆弱性問題</li> <li>・2008 SEA 名古屋支部・sigedu ジョイントフォーラムの案内</li> <li>・オープンソースカンファレンス 2008 Nagoya の案内</li> </ul>

第 2 回	
日時	平成 20 年(2008 年)8 月 28 日(木) 17:40 ~ 18:40
場所	育才塾 研修室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット安全教室開催について</li> <li>・オープンソースカンファレンス 2008 Nagoya 報告</li> <li>・「DNS 脆弱性問題 ~ 我々に何が出来るか」報告および追加情報</li> <li>・新入会員その他について</li> <li>・ヤフー基金助成金について</li> </ul>

第 3 回	
日時	平成 20 年(2008 年)9 月 26 日(金) 18:00 ~ 19:00
場所	育才塾 研修室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット安全教室について</li> <li>・ヤフー基金助成金について</li> <li>・監事引継ぎについて</li> </ul>

第 4 回	
日時	平成 20 年(2008 年)11 月 7 日(金) 18:00 ~ 19:00
場所	育才塾 研修室
議題	・インターネット安全教室について ・新会員紹介(クララオンライン)

第 5 回	
日時	平成 20 年(2008 年)11 月 30 日(火) 13:00 ~ 17:00
場所	愛知工業大学 本山キャンパス 講義室
議題	・インターネット安全教室開催

第 6 回	
日時	平成 21 年(2009 年)1 月 28 日(水) 18:00 ~ 19:00
場所	育才塾 研修室
議題	・Y A H O O ! 基金応募の結果について ・セキュリティ対策推進協議会 (SPREAD) 説明会出席の件 ・「NPO との協働による情報モラルの教育の推進」の報告 ・オープンソフト研究会について ・助成金について

第 7 回	
日時	平成 21 年(2009 年)3 月 26 日(木) 18:00 ~ 19:10
場所	育才塾 研修室
議題	・SPREAD について ・オープンソフト研究会開催結果について ・次世代 IP ネットワーク推進フォーラムについて ・平成 20 年度事業および収支報告総会および 21 年度総会について ・会費請求の件、退会について

第 8 回	
日時	平成 21 年(2009 年)4 月 17 日(金) 18:00 ~ 19:10
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	・収支決算案 ・総会議案、併設講演会 ・会報作成

## 4. 各事業の活動報告、その他

### 4.1 オープンソースソフトウェアセミナー

オープンソースソフトウェアセミナーは 2003 年 9 月に始まり、2008 年度は、第 19 回から第 20 回までと、「オープンソースカンファレンス 2008Nagoya」でのセミナーセッションに「緊急 DNS 勉強会」、「SH-Linux と コミュニティ活動と シリコニナックスのこれまでとこれから」の合計 4 回開催しました。以下、実行委員を紹介し、各回の内容、参加者数について報告します。

#### (1) 実行委員

氏名	所属
鈴木 常彦	TIC 理事/中京大学
永田 圭司	TIC 理事/旧 NLUG
田村 耕一	NBUG/SEA 名古屋
佐古田 純哉	旧 NLUG
小沢 英裕	もじら組
唐木 孝則	TIC 会員
小出 範明	Joomla!
立岩 佑一郎	名古屋大学大学院

#### (2) 開催内容

第 19 回	
テーマ	Wikipedia と MediaWiki
日時	平成 20 年(2008 年) 4 月 5 日(土) 14:00 - 17:40
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) ( <a href="https://www.tokai-ic.or.jp/">https://www.tokai-ic.or.jp/</a> ) ソフトウェア技術者協会(SEA) 名古屋支部 ( <a href="http://sea.forums.gr.jp/nagoya/">http://sea.forums.gr.jp/nagoya/</a> )
協力	UsagiProject ( <a href="http://usagi.mynets.jp/">http://usagi.mynets.jp/</a> ) 日本 UNIX ユーザ会(jus) ( <a href="http://www.jus.or.jp/">http://www.jus.or.jp/</a> ) 日本 Linux 協会(jla) ( <a href="http://jla.linux.or.jp/">http://jla.linux.or.jp/</a> ) 名古屋 * B S D (NBUG) ( <a href="http://www.nagoya.bug.gr.jp/">http://www.nagoya.bug.gr.jp/</a> ) 東海オープンソースコミュニティ(TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部(NPUG)
広報 URL	<a href="http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM19">http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM19</a>
セミナー	1. Wikipedia とコミュニティ 太田 尚志(ウィキペディアン)  Wikipedia が注目を集めるようになって久しくなりました。しかし WikiScanner の台頭などで Wikipedia に書くことそのものが問題にされる報道もありました。また教育機関がブロックされる例というのもあります。Wikipedia とは何なのか、Wikipedia は誰でも書いていいのか、Wikipedia に書くのは悪いことなのか。「コミュニティ」と「GFDL」をキーワードに解説します。  2. MediaWiki クイックスタート

	鎌滝雅久 (Ja.MediaWikiBook 主宰 & OpenOffice.org ドキュメントプロジェクト コーディネーター) Web サーバー、データベース、PHP って何というあなたもすぐに“Wikipedia” 同様の百科事典サイトをスタートできます。まずは、VMware Player 版の MediaWiki サーバーで試してみよう。																																								
参加状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>TIC</th> <th>SEA</th> <th>一般</th> <th>スタッフ</th> <th>AVH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込者</td> <td>38</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>22</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>欠席者</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛入参加者</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>39</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>							合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH	申込者	38	3	0	22	6	2	欠席者	3	0	0	2	0	0	飛入参加者	4	1	0	3	0	0	参加者	39	4	0	23	6	2
	合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH																																			
申込者	38	3	0	22	6	2																																			
欠席者	3	0	0	2	0	0																																			
飛入参加者	4	1	0	3	0	0																																			
参加者	39	4	0	23	6	2																																			

第 20 回	
テーマ	3 時間でわかる Android
日時	平成 21 年 (2009 年) 3 月 14 日 (土) 14:00 - 17:30
場所	育才塾・セミナールーム (イトザキビル 6F)
主催	NPO 東海インターネット協議会 (TIC) ( <a href="https://www.tokai-ic.or.jp/">https://www.tokai-ic.or.jp/</a> ) ソフトウェア技術者協会 (SEA) 名古屋支部 ( <a href="http://sea.forums.gr.jp/nagoya/">http://sea.forums.gr.jp/nagoya/</a> )
協力	日本 android の会 ( <a href="http://android.siprop.org/">http://android.siprop.org/</a> ) UsagiProject ( <a href="http://usagi.mynets.jp/">http://usagi.mynets.jp/</a> ) 日本 UNIX ユーザ会 (jus) ( <a href="http://www.jus.or.jp/">http://www.jus.or.jp/</a> ) 日本 Linux 協会 (jla) ( <a href="http://jla.linux.or.jp/">http://jla.linux.or.jp/</a> ) 名古屋 * BSD (NBUG) ( <a href="http://www.nagoya.bug.gr.jp/">http://www.nagoya.bug.gr.jp/</a> ) 東海オープンソースコミュニティ (TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部 (NPUG)
広報 URL	<a href="http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM20">http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM20</a>
セミナー	<p>1. Android、プラットフォームとしての可能性 近藤 純司 ((株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ/日本 Android の会・組み込み WG) ケータイ向けに開発された Android を非ケータイ機器に活用するには何が必要か? Android の最新情報と合わせて紹介します。</p> <p>2. Android の開発環境 みずのみつお (日本 Android の会・組み込み WG) Android のアプリケーションソフトウェアを開発する環境を紹介します。 エミュレータを使ったデバッグ環境のデモと、ターゲット実機を使ったリモートデバッグのデモも行います。</p> <p>3. アプリ実行環境を比較してみよう ~Java VM と Dalvik VM ~ 富永 勉 ((有)A.PLUS/日本 Android の会 名古屋支部長) Java 言語から生成された中間言語を実行するために Java バーチャルマシン (VM) があります。 Java アプリ実行環境である PC の Java VM と Android の Dalvik VM を比較し、違いや特徴などを紹介します。</p>

参加状況		合計	TIC	SEA	一般	スタッフ
	申込者	26	3	1	17	5
	欠席者	0	0	0	0	0
	飛入参加者	2	1	0	1	0
	参加者	28	4	1	18	5

オープンソースカンファレンス 2008Nagoya	
テーマ	緊急 DNS 勉強会
日時	平成 20 年(2008 年) 8 月 9 日(金) 10:15 - 11:00
場所	名古屋市立大学山の畑キャンパス教養教育棟 207 教室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) ( <a href="https://www.tokai-ic.or.jp/">https://www.tokai-ic.or.jp/</a> )
広報 URL	<a href="http://www.ospn.jp/osc2008-nagoya/modules/eguide/event.php?eid=43">http://www.ospn.jp/osc2008-nagoya/modules/eguide/event.php?eid=43</a>
勉強会	講師:鈴木 常彦(NPO 東海インターネット協議会理事)  Dan Kaminsky 氏が発見した DNS 毒入れ手法は、DNS の原理的な脆弱性に基づいており、人々は非常に危険な状況にさらされている。緊急かつ正しい対策が必要であり、緊急の勉強会を企画した。

オープンソースカンファレンス 2008Nagoya	
テーマ	SH-Linux とコミュニティ活動とシリコンリナックスのこれまでとこれから
日時	平成 20 年(2008 年) 8 月 9 日(金) 11:15 - 12:00
場所	名古屋市立大学山の畑キャンパス教養教育棟 206 教室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) ( <a href="https://www.tokai-ic.or.jp/">https://www.tokai-ic.or.jp/</a> )
広報 URL	<a href="http://www.ospn.jp/osc2008-nagoya/modules/eguide/event.php?eid=29">http://www.ospn.jp/osc2008-nagoya/modules/eguide/event.php?eid=29</a>
勉強会	講師:海老原 祐太郎(シリコンリナックス株式会社 代表取締役)  SH3, SH4 向けの Debian etch を野良ビルドして公開しています。 なぜに? これからはエコですよ、エコ。

## 4.2 ビジネス応用事業

### (1) 事業内容

次世代ネットワークを利用した新しいビジネス応用を目的とした調査研究、セミナーなどの実施

## (2) 活動概要

IP Meeting 2008 に参加したので、そのテーマ概要を報告する。

IP Meeting 2008 ~ IPv4 アドレス在庫枯渇を乗り越える ~

日時:平成 20 年 11 月 28 日

場所:秋葉原コンベンションホール

参加:萩原秀和

テーマ:

### 1. ルーティング・トポロジの状況

吉田友哉氏(NTT コミュニケーションズ)

- ・ IPv6 の経路は増加傾向
- ・ 来年 4byteAS 対応は本格化
- ・ 国際トラフィックは US 及びアジア方面が継続的に増加
- ・ 国内は東京一極集中型
- ・ 国際は大阪分散化の促進

### 2. 国際関係(インターネットガバナンス)

前村昌紀氏(日本ネットワークインフォメーションセンター)

中野正康氏(総務省)

- ・ OECD(経済協力開発機構)における情報通信分野の取組みのご紹介
- ・ ICCP(情報・コンピュータ・通信政策委員会)と各作業部会の今後の活動

大橋由美氏(日本レジストリサービス)

- ・ 今年のドメイン名と ICANN
- ・ 新しい gTLD の追加に向けた動き
- ・ 新しい ccTLD の追加に向けた動き

佐野晋氏(日本ネットワークインフォメーションセンター)

- ・ 分配業務(IPv4 アドレスの消費状況)
- ・ NRO(Number Resource Organization)の動向

### 3. セキュリティ

水口孝則氏(NTT コミュニケーションズ)

- ・ 2008 年のネットワーク運用におけるセキュリティ動向
- ・ ネットワーク機能停止(DDoS)アタックの実態

木村孝氏(日本インターネットプロバイダ協会)

- ・ 特定電子メール法/特商法の改正と事業者が受ける影響
- ・ 日本の迷惑メール対策法は2本立て

小宮山功一朗氏(JPCERT コーディネーションセンター)

- ・ 標的型攻撃対策:IT セキュリティ予防接種
- ・ 横浜市役所のケーススタディなど

山口健太郎氏(横浜市)

### 4. IETF における標準化・ディプロイメント状況

関谷勇司氏(東京大学)

- ・ 2008 年における IETF の動向
- ・ Routing/DNS/IPv6 関連の WG の紹介

## 5. 基調講演

後藤滋樹氏(早稲田大学)

## 6. 講演

Geoff Huston 氏(APNIC)

## 7. パネルディスカッション

「IPv4 アドレス在庫枯渇を乗り越えて」

後藤滋樹氏(早稲田大学)

江崎浩氏(東京大学)

牧園啓市氏(ソフトバンク BB)

安武弘晃氏(楽天)

前村昌紀氏(日本ネットワークインフォメーションセンター)

山下良蔵氏(日本ケーブルテレビ連盟)

馬場達也(NTT データ)

- ・ NTT データのレポートとして IPv6 対応に関して以下の問題提起あり
- ・ ネットワークエンジニア以外 IPv6 を知らない人が多い
- ・ ミッションクリティカルな環境に導入できる状況ではない
- ・ ユーザーニーズがほとんどない
- ・ 楽天、ソフトバンク BB、ケーブルテレビの本問題に対する報告

以上

次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの総会に出席したので、その概要を報告する。

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム第3回定期総会

日時:平成21年3月18日

場所:東京ステーションコンファレンスサビアホール

出席:萩原秀和

議事:

## 1. 開会

## 2. 会長挨拶

東京大学齋藤忠夫名誉教授より挨拶があった

## 3. 来賓挨拶

河内正孝 大臣官房 官房総括審議官より来賓挨拶があった

## 4. 議事-1

各部会の平成20年度活動報告及び平成21年度活動方針

## (1) 企画推進部会

・I3E2008 の後援

## (2) 技術部会

・フェムトセル運用ガイドラインの検討

## (3) 研究開発・標準化部会

・ インフラ系技術 SWG

エンドエンド QoS 制御技術

機能分散型トランスポート技術

・ セキュア系技術 SWG



- IPTV 向け高信頼化技術
- 災害時即時復旧技術
- NGN 活用型セキュリティ技術
- ・ サービス系技術 SWG
- FMC 環境におけるサービスリソース制御技術
- プレゼンス・コンテキスト共用システム相互接続技術
- トランザクション型アプリケーション通信技術
- 端末の保守運用プロトコル技術
- ・ ホームネットワーク WG
- 次世代ホームネットワーク公開サービス実験
- (4) IP 端末部会
- ・ 責任分担モデル WG
- 第1次報告書の作成
- (5) 利活用促進部会
- ・ 利活用 WG
- IPTV の動向、サービス
- ・ 新ビジネス検討 WG
- IPDC の適応が期待されるサービス
- IPDC の今後

#### 5. 議事-2

役員を選出

会長: 齋藤忠夫氏(東京大学 名誉教授)

副会長: 宇治則孝(日本電信電話 副社長)

副会長: 伊藤泰彦(KDDI 副社長)

#### 6. 議事-3

幹事候補の選出

#### 7. 閉会

総会終了後、記念の講演会が開催された

- (1) 「次世代ホームネットワークと高度通信システム相互接続推進会議(HATS)の連携」

高呂賢治氏(沖電気工業)

- (2) 「クラウドコンピューティングの現状と次世代ネットワークにおける課題」


可能敏行氏(日本電気)

ホームネットワーク及びクラウドコンピューティングは現在のネットワークの中で最も

注目されている技術動向であり、今後のインターネットビジネスの中心になると考える。

4.3 インターネット安全教室

(1) 2008 年度 インターネット安全教室

2008 年度 インターネット安全教室開催報告書			
開催地	愛知県 名古屋市	開催日時	2008 年 11 月 30 日(日) 14:00-16:55 (開場 13:30)
会場	会場施設名:愛知工業大学 本山キャンパス 講義室1 会場住所 :名古屋市千種区東山通1 - 38-1		
主催者	NPO東海インターネット協議会		
共催者	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)		
後援	警察庁		
講師	東邦ガス情報システム(株) 技術管理部 技術管理グループ 澤田 裕也 氏		
主催者挨拶	NPO東海インターネット協議会 理事長 中田 平		
警察講師	愛知県警察本部 生活安全部 生活安全総務課 サイバー犯罪対策室 課長補佐 大森 恒雄 氏		
スタッフ	NPO東海インターネット協議会 8 名		
その他	愛知工業大学 教授 経営情報科学部 情報科学科 阿部 圭一 氏		
プレス	中部経済新聞 11月25日名古屋経済面で紹介された また「YAHOO! ボランティア HP」のイベント案内に、過去開催写真付きで紹介された		
配布資料	・当日プログラム ・ノベルティ、CD-ROM 冊子、親子向けリーフレット ・愛工大 阿部先生 PP資料		
定員	100 名		
参加者数	一般参加者:35 名 総勢参加者:50 名(来賓、県警、関係スタッフ含む)		
【来場者の特徴】 20代が2名、後は40代から60代までの幅広い方に参加をいただいた。女性は少数12名であった。地下鉄の駅に隣接をしているため、開場時間に人が集まり始めた。熱心に講師や県警のお話を聴く姿が印象的だった。質問も熱心に交わされ、非常に参考になったというアンケートが多く見られた。		【会場写真添付欄】 	

## 【内容】

13:30 受付開始

14:00 開催の挨拶 理事長 中田 平

定刻に、事務局中野の司会で開始され、理事長の挨拶、これまでの協議会の取り組み、安全教室の経緯などが紹介された。その後配布資料の確認が行われた。

14:05-15:20 CD-ROM 上映

講師澤田氏の紹介があり、約 25 分間、CD-ROM「インターネット安全教室」の上映を行った。

講師澤田氏が上映内容を中心に講師解説を行った。

会場全員で、クイズ形式の体験学習を行った。

質疑応答も 15 分ほど行った。

15:05-15:25 質疑応答

質問 1: Windows のバージョンアップの質問について、いつ行えば良いのかという設問に対し、自動的に行うというのが最良の解答であったが、パソコンおよび LAN 等には、終了後には、つなげない方が良いという答えもあったので、それが果たして最良なのか？

回答: パソコンを使用中には、ソフトのダウンロードをすると、負荷が掛かってしまい、避けた方が良い。自動的に時間を決めて、定期的にバージョンアップをした方が良い。

質問 2: それに関連して、ずっと稼働をさせている場合、バージョンアップをした場合、自動的に再起動が掛かってしまい、データが保存されずに終了されることがある。これにはどう対応したらよいのか？

回答: 作業中のパソコンの場合は、注意を要する。データが自動的に保存されずに、再起動されることがあるので、稼働中の際は、自動でのバージョンアップはやらない方が良い。

15:25-15:30 休憩

15:30-15:55 愛知県警からのお話

「ネット社会の落とし穴」と題して愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課の大森氏によるプレゼンテーションが行われた。

第 2 部として

16:00 - 16:45 愛知工業大学 教授 阿部圭一先生から

「いまケータイで子どもの世界に何が起きているか」を講演。

16:45 に終了した。

## (2) JNSA 全国情報セキュリティ啓発シンポジウム

JNSA(日本ネットワークセキュリティ協会)はネットワーク・セキュリティに関する活動が認められ、2001 年 5 月に特定非営利活動法人(NPO)として認可された団体。

2008年10月31日(金)に第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウムやろっさ「インターネット安全教室」in ふくい

が開催された。

第1回全国情報セキュリティ啓発シンポジウムというイベントをはじめて行った。しかも、地方(東京以外)で行われたと  
いうことで、経産省もJNSAも安全教室全国連絡会議も熱が入った。

### (3) インターネット安全教室全国連絡会議

インターネット安全教室全国連絡会議を2008年11月1日(土)に開催された。

## 5. 会員一覧

会員番号	名称	種別
1002	愛知学院大学	組織
1016	学校法人梅村学園	組織
1017	株式会社エイチ・オー・エス	組織
1023	金城学院大学	組織
1036	株式会社ミントウェーブ	組織
1039	中部大学	組織
1044	愛知東邦大学 (旧 東邦学園大学・短期大学)	組織
1053	名古屋工業大学	組織
1061	日本福祉大学メディア教育センター	組織
1076	名城大学	組織
1077	株式会社メイテツコム	組織
1102	愛知県立大学	組織
1119	株式会社 SRA 中部事業部	組織
1121	東邦ガス情報システム株式会社	組織
1128	株式会社アプレッツ	組織
1133	株式会社クララオンライン	組織
2007	島田 さとみ	個人
2011	松井 幸平	個人
2019	大杉 健一	個人
2020	石田 亨	個人
2021	渡邊 広隆	個人
2022	奥村 晴彦	個人
2023	唐木 孝則	個人
2025	城下 修	個人
2026	渥美 清隆	個人
2027	大橋 知子	個人
2028	河合 勝彦	個人
2029	田坂 雄一	個人
2030	後藤 邦夫	個人
2031	小澤 英裕	個人
2032	永田 圭司	個人
2033	安藤 建一	個人
2034	児玉 照美	個人
2035	江坂 昭	個人
2036	浅井 友英	個人
2037	山田 眞佐代	個人
2038	阿部 圭一	個人
3009	東海ソフト株式会社	賛助
3015	西日本電信電話株式会社 名古屋支店	賛助

## 6. 定款

### 特定非営利活動法人

#### 東海インターネット協議会 定款

法人設立	平成14年	5月20日
改訂	平成15年	11月15日
改訂	平成18年	5月13日
改訂	平成19年	5月19日
改訂	平成20年	5月17日
改訂	平成21年	5月15日

### 第1章 総則

#### (名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人東海インターネット協議会といい、その英文表記を Tokai Internet Council、略称を TIC(ティーアイシー)とする。

#### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を愛知県名古屋市東区白壁3丁目12番13号に置く。

### 第2章 目的及び事業

#### (目的)

第3条 この法人は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民(中小企業事業者と社員、学校・大学、身体障害者、等)に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進ならびに情報化社会の発展に寄与することを目的とする。

#### (特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 情報化社会の発展を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

この法人の主たる目的は(1)および(2)であるが、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介を行うため、(3)の活動を行う。

#### (事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

インターネットの技術および利用に関する啓発・普及事業

インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発事業

学校教育へのインターネット利用の支援事業

障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介事業

中小企業社員・学生・市民に対するインターネット技術の教育事業

##### (2) その他の事業

インターネットの技術及び利用に関する事業

2 前項第2号に掲げる事業は、同項第1号に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は同項第1号に掲げる事業に充てるものとする。

### 第3章 会員

#### (会員の種別)

第6条 この法人の会員は次の2種とし、正会員および賛助会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体(以下正会員たる個人を「個人正会員」、正会員たる団体を「団体正会員」といい、両者を「正会員」という。)

- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人及び団体

#### (入会)

第7条 正会員及び賛助会員の入会条件については、特に定めないものとする。

2 正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、理

理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は理事会および運営委員会の承認を経て、正当な理由がない限りその者の入会を認めなければならない。

3 理事長は、前項のもの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 正会員及び賛助会員は入会金及び会費を納入するものとする。

2 個人正会員で理事になった者は会費を免除する。

3 入会金及び会費の金額は、総会の議決を経て別に定める。

(会員資格の喪失)

第9条 正会員及び賛助会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 理事長に退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は正会員及び賛助会員である団体が消滅したとき。
- (3) 1年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 正会員及び賛助会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会において、出席した正会員の3分の2以上の議決により、これを除名することができる。ただし、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この法人の定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(会費等の不返還)

第12条 既納入の会費その他の拠出金品は、返還しない。

## 第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上15名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち、1名を理事長、2名以内を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況、又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事

会の招集を請求すること。

(任期等)

第 16 条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残任期間とする。

3 役員は前二項の規定にかかわらず、後任者が選任されていない場合に限り、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで、その任期を伸長する。

(欠員補充)

第 17 条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第 18 条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第 19 条 役員は、無報酬とする。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第 20 条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

2 職員は、理事長が任免する。

## 第5章 総会

(種別)

第 21 条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第 22 条 総会は、正会員および賛助会員をもって構成する。

(権能)

第 23 条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第52条において同じ。)
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

(開催)

第 24 条 通常総会は、毎年2回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号に定めるところにより、監事から招集があったとき。

(招集)

第 25 条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときには、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開会日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 26 条 総会の議長は、理事長がこれにあたる。

(定足数)

第 27 条 総会は、正会員及び賛助会員の総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第 28 条 総会における議決事項は、第 25 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員及び賛助会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第 29 条 総会における各正会員及び賛助会員の表決権は平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員及び賛助会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の正会員又は賛助会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員及び賛助会員は、前 2 条及び次条第 1 項の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員及び賛助会員は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第 30 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 会員総数及び出席会員総数(書面表決者又は表決委任者を含む)
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印しなければならない。

第 6 章 理事会

(構成)

第 31 条 理事会は、理事をもって構成する。理事になることができる者は個人正会員もしくは団体正会員に所属する個人とする。

(権能)

第 32 条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(種類及び開催)

第 33 条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的を記載した書面によって招集の請求があったとき。
- (3) 第 15 条第 4 項第 5 号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第 34 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第 1 項第 2 号及び第 3 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開会日の 5 日前までに通知しなければならない。

(議長)

第 35 条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決)

第 36 条 理事会における議決事項は、第 34 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)



第 37 条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由により理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、次条第 1 項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第 38 条 理事会を開催したときは、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあつては、その旨を付記すること)
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席した理事の中からその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印をしなければならない。

## 第 7 章 委員会

(運営委員会)

第 39 条 この法人の日常的運営のために運営委員会を設置する。

2 運営委員会の運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

(その他の委員会)

第 40 条 その他この法人の運営上必要があるときは、理事会の議決により運営委員会とは別に委員会を置くことができる。

2 この委員会の運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

## 第 8 章 資産及び会計

(資産の構成)

第 41 条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをも

って構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の区分)

第 42 条 この法人の資産は、これを分けて特定非営利活動に係る事業に関する資産及びその他の事業に関する資産の 2 種とする。

(資産の管理)

第 43 条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第 44 条 この法人の会計は、法第 27 条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(会計の区分)

第 45 条 この法人の会計は、これを分けて特定非営利活動に係る事業に関する会計及びその他の事業に関する会計の 2 種とする。

(事業計画及び予算)

第 46 条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 47 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときには、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第 48 条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予

算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第 49 条 予算作成後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正を行うことができる。

(事業報告及び収支決算)

第 50 条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第 51 条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(臨機の措置)

第 52 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

## 第9章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第 53 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員及び賛助会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第 54 条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の議決
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員及び賛助会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員及び賛助会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 55 条 この法人が解散(合併又は破産による解散を除く。)したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げるもののうち、解散時の総会で決議したものに譲渡するものとする。

(合併)

第 56 条 この法人が合併しようとするときは、総会において、正会員及び賛助会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

第 57 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

## 第11章 雑則

(細則)

第 58 条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て理事長がこれを定める。

7. 入会申込書

様式 1

## 入 会 申 込 書

特定非営利活動法人東海インターネット協議会入会申込書

特定非営利活動法人東海インターネット協議会御中

申込年月日： 2 0     /     /

会員種別：     個人・組織・賛助・特別

申込者：

代表者：

代表者署名：

代表者連絡先：〒

TEL(     )     -

FAX(     )     -

e-mail：

担当者：

担当者連絡先：〒

TEL(     )     -

FAX(     )     -

e-mail：

会費請求先：

---

事務局使用 入会事務手続き 200 / /     ( FAX にて事務局まで送付ください )

---

## 8 . TIC ネットワーク関係年表

年	TIC の出来事	世の中の出来事
1989 年 冬	東海 UUCP 接続の再編。地区内 12 ドメイン	日本の TOP DOMAIN が jp に決定 (*1)
1990 年 10 月	地区内 33 ドメイン。JAIN サイト増える	
1992 年 3 月	TIC 設立準備会発足	
1992 年 7 月	TIC 設立	
1993 年 2 月	東海地域ネットワーク(TRENDY)(*2)誕生 (学術実験)	
1994 年 4 月	東海地域 IP バックボーン(TRIP)(*3)運用開始(学 術実験)	
1994 年 6 月		第 1 回 NETWORLD + INTEROP JAPAN 開催
1994 年 8 月	TIC WWW サーバ公開開始	
1994 年 9 月	TIC 公衆 Delegte サービスを開始	INTERNET MAGAZINE 発刊
1994 年 10 月		JUNET 協会解散
1994 年 11 月	TCP - NET、TCP - IP サービス開始	この頃から大手商用 ISP も名古屋地区でサー ビス開始
1994 年 12 月		InetClub 解散
1995 年 11 月		Windows 95 発売 (ダイヤルアップ接続普及) (*5)
1995 年 12 月	TIC WWW 運用ホストを変更	
1996 年 1 月	TIC から TCP - NET、TCP - IP サービス運営を分 離	
1996 年 3 月	TIC WWW 運用ホストを TIC 事務局 に移設	
	TIC WWW 運用ホスト(www2)の新設	
1996 年 7 月		JP ドメイン登録 1 万突破(*5)
1996 年 10 月		JPCERT/CC、任意団体として発足
1996 年 12 月	TIC 実験用運用ホスト(www3)の新設	
1997 年 1 月		セキュリティ センター (IPA/ISEC) 発足
1997 年 3 月		JPNIC 社団法人化(*5)
1997 年 6 月		INS ルータ MN128 - SOHO 発売開始
1997 年 8 月	TIC 利用 ISP を TCP - NET から OCN に切替	
	金城学院大学の TRIX 接続終了	
1997 年 11 月	名古屋市科学館の TRIX 接続終了	

1997 年 12 月	TIC 公衆 Delegate サービスを開始	
	労災リハビリテーション工学センタの TRIX 接続 終了	
	TRIX 運用終了	
1998 年 3 月	TIC 関係メーリングリストを外部に委託	
1998 年 4 月	TIC WWW 運用ホストを外部に委託。	
	同時に DNS, メールサーバについても外 部に委 託	
	TIC 山里 NOC を廃止	
1999 年 3 月	メーリングリスト、WWW、DNS、メールサーバを 一ヶ所に委託へ	3 月 31 日を以って TRAIN(*4)解散
1999 年 7 月	1 日、DNS, MX, WWW サーバの自主 運用を再 開	7 月 1 日、NTT 再編成
	8 日、TIC 総会開催(中区栄(株)電通 中部支社)	
1999 年 9 月	18 - 19 日、TIC 合宿勉強会”ネットワー ク管理者 vs アタッカーの攻防”開催	JP ドメイン登録 10 万突破
1999 年 11 月	16 - 17 日、”インターネットシンポジウム 1999in 東 海”開催(吹上ホール)	
2000 年 2 月	19 日、勉強会”インターネット・トレー ディングの 今と未来”開催	
2000 年 3 月	TIC メーリングリストの自主運用を再開	11 日 TRAIN 協会設立総会開催
	23 日(財)科学技術交流財団主催オープンフォー ラムに協賛	
2000 年 4 月	4 日、勉強会”セキュリティ脆弱性情報は どう取扱 われるべきか”開催 講師:高木浩光氏	
2000 年 5 月	3 - 5 日、浜松祭りインターネット中継	
	13 日、日本 UNIX ユーザ会、名古屋 Linux ユー ザ会と合同で勉強会を開催	
2000 年 6 月		6 月 30 日、名古屋めたりっく通信設立
2000 年 7 月	8 日、TIC 総会開催、TIC 討論会”早く欲しいな Mbps to TheHome”開催	NTT”フレッツ・アイ”(今のフレッツ・ISDN) サービス開始
2000 年 9 月	22 - 23 日、TIC 合宿開催	
2000 年 10 月		中部電力による FTTH 実験開始 DDI, KDD, IDO が合併し KDDI に

		ICANN 理事選挙開始
2000 年 11 月	14 - 15 日、"インターネットシンポジウム 2000in 東海" 開催(吹上ホール)	11 月 6 日、日本語ドメイン名運用試験フェーズ 1 開始
2000 年 12 月	27 日、TIC 勉強会(1. メールセキュリティ 2. NPO 知多ネット)開催(JUS 東海 と合同)	12 月 26 日、株式会社日本レジストリサービス(JPRS)設立
		インターネットウィーク 2000 開催
2001 年 2 月		汎用 JP ドメイン名優先登録開始
2001 年 3 月		名古屋めたりっく通信、サービス開始 フレッツ ADSL、名古屋での申込受付 開始
2001 年 5 月	3 - 5 日、浜松祭りインターネット中継	
	29 日、tokai - ic.jp ドメイン取得	5 月 1 日、マイラインサービス開始
2001 年 8 月		2ch 閉鎖騒動
2001 年 10 月		@nifty 会員 500 万突破
		Netscape 6.2 公開
2002 年 10 月		プレビューで感染するウイルス Bugbear 情報が公開
2002 年 11 月	TIC NPO 法人化される	
2003 年 1 月		韓国 slammer ワームの影響でインターネットが 9 時間マヒ
2003 年 3 月		JPCERT/CC、中間法人格取得
2003 年 5 月		NSPIX2 が DIX-IE に変わった
2003 年 8 月		Windows の Nachi(RPC 系 worm)が蔓延する
2003 年 9 月	第 1 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2003 年 秋		MELCO 社 BUFFALO 社 に社名変更される
2003 年 12 月		1 日、東名阪で地上デジタル放送開始
2004 年 2 月		(株)イー・マーキュリー、「mixi」の運営を開始
2004 年 5 月	TIC 総会開催	
2004 年 11 月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	
2005 年 5 月	TIC 総会開催	
2005 年 8 月		mixi 会員が 100 万人を突破
2005 年 9 月	第 10 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2005 年 10 月	第 11 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	

2005 年 11 月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	
2005 年 12 月	第 12 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2006 年 3 月	第 13 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	3 月 29 日, INTERNET MAGAZINE 最終号(2006 年 5 月号)発売. 通算 136 号. 以後オンライン化
2006 年 4 月		ワンセグ(携帯向け地デジサービス)本放送開始
2006 年 9 月	オープンソースソフトウェアシンポジウム 2006 開催	
2006 年 10 月	第 14 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	9 日, Google が YouTube を買収.
2006 年 11 月		米 Time 誌, 2006 年発明大賞(Invention of the Year)に YouTube を選出
2006 年 12 月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	NGN 実験が始まる
2007 年 1 月		Windows VISTA 発売
2007 年 4 月	第 15 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2007 年 5 月	19 日, TIC 総会開催	
2007 年 7 月	第 1 回ネットワークプログラミング勉強会開催	
2007 年 10 月	東海スクールネット研究会 共催	31 日, いとじゅんこと萩野純一郎さん逝去. 享年 37 歳. インターネットの発展に多大な貢献.
2007 年 11 月		米 Time 誌, 2007 年発明大賞(Invention of the Year)に iPhone を選出
2007 年 12 月	2 日「インターネット社会を安全に暮らすための講習会」を主催. 共催は経済産業省, JNSA	国内のインターネット利用者が 8811 万人に達し、一般家庭におけるブロードバンド回線は、光が DSL を抜く(2008 年 4 月総務省発表(*6))
2008 年 1 月	TIC が JNSA 賞を受賞	
2008 年 4 月	第 7 回ネットワークプログラミング勉強会開催	
2008 年 5 月	TIC 総会開催	
2008 年 11 月	2008 年度インターネット安全教室開催	
2009 年 3 月	第 20 回オープンソースソフトウェアセミナー開催	9 日, 石田晴久先生逝去. 享年 72 歳. 日本国内の UNIX、インターネットに普及に尽力.
2009 年 4 月		20 日, 米 Oracle, 米 Sun Microsystems の買収を発表.

\* 1) JPNIC ニュースレター第 1 号による

- \* 2) TRENDY = Tokai REgional Network DYnamics
- \* 3) TRIP = Tokai Regional IP backbone
- \* 4) TRAIN = Tokyo Regional Academic Inter - Network
- \* 5) <http://www.nic.ad.jp/ja/profile/history.html> より
- \* 6) [http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080418\\_4.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080418_4.html)

## 9. 付録 WWW ページで見た地域ネットワーク協議会の動向調査 第 10 版

第 0 版 1999 年 4 月 16 日(作成)	第 6 版 2005 年 5 月 22 日
第 1 版 1999 年 6 月 24 日	第 7 版 2006 年 4 月 1 日
第 2 版 2001 年 6 月 20 日	第 8 版 2007 年 5 月 8 日
第 3 版 2002 年 6 月 16 日	第 9 版 2008 年 5 月 1 日
第 4 版 2003 年 5 月 1 日	第 10 版 2009 年 5 月 8 日
第 5 版 2004 年 6 月 12 日	

作成:東海インターネットワーク協議会(第2版まで)

NPO 東海インターネット協議会(第3版から)

本資料は、東海インターネット協議会の今後を検討する際の参考資料として作成したものである。

名称	略称	WWW ページ URL	WWW ページ最終更新	会員数	代表 (所属役職)	事務局	最近の活動	特記事項	97.9.5 会議出席
北海道地域ネットワーク協議会	NORTH	<a href="http://www.north.ad.jp/">http://www.north.ad.jp/</a>	200902.19	25	会長 辰巳治之 (札幌医科大学)	(株)SOA ピリカ内	200903.2 第 15 NORTH インターネットシンポジウム 2009	2003 年 NPO 認証	
北海道インターネット協議会	--	<a href="http://hokkai.or.jp/">http://hokkai.or.jp/</a>	2008.04	--	--	ホッカ イ・ネット 事務局	--	(株)テクニカルが 1996 年に ISP サービス開始	--
秋田県インターネット協議会	AIC	<a href="http://www.hana.or.jp/icn/">http://www.hana.or.jp/icn/</a>	--	--	--	--	--	2002 年より秋田県 IT 基盤協会に移行。2005 年 5 月 22 日以来、左記 URL アクセス不可。	



秋田県 IT 基盤協会	--	<a href="http://www.it-akita.ne.jp/">http://www.it-akita.ne.jp/</a>	2003.1.23	6	理事長 杉澤徹	秋田県鹿角市花輪	--	地域プロバイダ連合会組織 2002 年より秋田県インターネット協議会から移行 平成13年12月3日 NPO 設立登記	--
東北地域情報通信ネットワーク連携協議会	--	--	--	--	--	--	2006 年 6 月 23 日 平成 18 年度通常総会開催 2006 年 6 月次の会員数は 28. 旧 URL は <a href="http://www.pref.miyagi.jp/jyoho/kankei/tnw/">http://www.pref.miyagi.jp/jyoho/kankei/tnw/</a>	2003 年 1 月 31 日設立。2007 年 12 月 26 日解散 ( <a href="http://www.pref.miyagi.jp/jyoho/rireki/historyH19.htm">http://www.pref.miyagi.jp/jyoho/rireki/historyH19.htm</a> )	-
東北インターネット協議会	TiA	<a href="http://www.tia.ad.jp">http://www.tia.ad.jp</a>	--	--	--	(財)仙台応用情報学研究振興財団内	1998 年 9 月時点でトップページアクセス可能	2008 年 4 月 29 日左記 URL アクセス不可。事務局情報は、 <a href="http://www.sfais.or.jp/research.html">http://www.sfais.or.jp/research.html</a> による	--
東北学術研究インターネットコミュニティ	TOPIC	<a href="http://www.topic.ad.jp/">http://www.topic.ad.jp/</a>	--	67	--	東北大学情報シナジーセンター内	--	東北地方の研究・教育機関を結ぶインターネットを運営  会員数は <a href="http://www.topic.ad.jp/member/index-j.html">http://www.topic.ad.jp/member/index-j.html</a> による	--
桐生広域 Internet 協議会		<a href="http://www.kaic.net/">http://www.kaic.net/</a>	2006.04.18	100	会長 黒沢 誠	群馬県桐生市宮前町	--	会員数は、参加団体のホームページリンク数。	--

								http://www.ensc.com/kaic/ はアクセス不可	
柏インターネットユニオン	KIU	--	--	--	--	--	2006 年 5 月 21 日、第 26 回 KIU インターネット教育研究フォーラム開催。2006 年時点で会員数 45。旧 URL は http://www.kiu.ad.jp/	2001.3.23 特定非営利活動法人認証。学校の情報化を支援。2008 年 2 月 23 日解散 (http://www.chiba-npo.jp/katsudo_shiru/h_jyokyo/kaisan1.html)	--
東京地域アカデミックネットワーク協会	A-TRAIN	--	--	--	--	--	2005 年 12 月 1 日、分散システム/インターネット運用技術シンポジウム 2005 開催	TRAIN(1992-1999)解散を受け 2000 年 3 月発足 2008 年 4 月 29 日現在、www.a-train.org は売り出し中との表示。	--
山梨地域インターネット協会	YACC	http://www.yacc.or.jp/	2005 年 6 月 8 日 (第 7 版)	16 (第 7 版)	--	--	2005 年 6 月 7 日第 13 回 YACC 総会開催(第 7 版)	左記トップページは 2009 年 5 月 8 日現在工事中	
信州インターネット協議会	SINC	--	--	--	--	--	--	(旧 URL) www.sinc.ad.jp, susyor7.cs.shinshu-u.ac.jp. これらのページは現在アクセス不可	

富山インターネット協議会	Triton	<a href="http://www.triton.jp/">http://www.triton.jp/</a>	2009-03-12	28	会長 米田政明 富山工業高等専門学校 校長	(株)富山県総合情報センター 事業部内	2009年2月23日(月)セミナー「クラウドコンピューティングの衝撃」を開催	(*1)PukiWiki ページより	
富山地域 IX 研究会		<a href="http://www.toyama-ix.net/">http://www.toyama-ix.net/</a>	2009-03-11	16	幹事会代表 米田政明 富山工業高等専門学校 校長	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス株式会社	第38回勉強会 第38回勉強会「IPv6活用・推進セミナー」開催	接続組織数は2007年5月時点のもの	
新潟地域インターネット協議会	NIINA	--	--	--	--	--	--	最初の組織は新潟地域インターネット協議会平成10年3月に解散し、平成10年4月に発足した新潟県高度情報化推進協議会に資産を引継いだ	
新潟県 IT&ITS 推進協議会	<a href="http://www.n-its.jp/">http://www.n-its.jp/</a>	<a href="http://www.n-its.jp/">http://www.n-its.jp/</a>	2008年	145	新潟県知事	新潟県総務管理部情報政策課情報化推進係	平成20年5月28日、平成20年度総会開催、平成19年2月7日 ICT 政策セミナーを開催 <a href="http://www.live-cam.pref.niigata.jp/">http://www.live-cam.pref.niigata.jp/</a> で新潟 Live カメラ設置画像を公開	平成13年4月、新潟県高度情報化推進協議会から移行 H13年4月27日規約施行開始 会員数は会費納入組織数に基づく	-
北陸地域情報ネットワーク協議会	FITnet	<a href="http://www.fitnet.ad.jp/">http://www.fitnet.ad.jp/</a>	2009.04.24(Google cache)	47	会長 村井忠邦 富山大学総合情報基盤センター センター長	富山県立大学 計算機センター内	2005/11/2 FITnet 記念講演会	会員数は2003/4/30時点平成15年度の第10回通常総会議案書による。 <a href="http://www.jaist.ac">http://www.jaist.ac</a> .	

								jp/iscenter/f itnet/ア ク セス不可。	
東海 インターネット 協議会	TIC	https:// www.tok ai-ic.or. jp/	2009.05. 01	24(* 1)	理事長 中 田 平 (金城学院 大学 教授)	(有)育 才塾内	2009 年 5 月 15 日、総会、併設 講演会開催予 定。 オープンソース ソフトウェアセミ ナーを 2003 年 より開催中。 2004 からイン ターネット安 全教室共催。 ネットワーク プログラミング 勉強会定期 開催中。	1992 年設 立。 2002 年 5 月 NPO 法人 化 (*1)2008 年 4 月点の組 織会員数	
特定非営利活 動法人 NPO 知 多ネット	chitanet	http:// www.chi tanet.or .jp/	2009.5 月	17 (*1)	理事長 間瀬康文	愛 知 県 知 多 郡 武 豊 町	パソコンわい わい相談室、IT ママ講習会開 催	(*1)平成 15 年 4 月 1 日 現在	--
第 5 地区ネットワ ークコミュニティ	NCA5	http:// www.nc a5.ad.jp /	2009.2.1 5	56 (*1)	--	京 都 大 学 学 術 情 報 メ ディアセ ン タ ー 内	2009 年 2 月 5 日 Web サイトリ ニューアル。。 2008 年 2 月 24 日第 17 回総会	京都大学 学術情報メ ディアセン ター が主 催するネッ トワークコ ミュニティ。学 術研究を支 援するための IP ネット ワークに関 する情報交 換およびネ ットワーク環 境の整備、 発展を目的 とする (*1)2006 年 1 月 18 日現 在	--

京都情報基盤協議会	Kyoto-Pnet	http://www.kiic.or.jp/	--	--	--	--	平成18年3月3日第12期臨時総会開催	--	--
京都高度情報化推進協議会		http://allkyoto.picky.or.jp/index.html	2006.6.18	62	会長：坂井利之 京都大学名誉教授	--	--	京都情報基盤協議会との組織統合によりITコンソシアム京都に移行	
ITコンソシアム京都		http://www.it-kyoto.jp/	2006.6.18	142	会長 富田眞治 京都大学大学院情報学研究科長	京都府企画環境部企画参事内	平成18年6月8日 ITコンソシアム京都設立総会・記念講演会  平成19年5月2日 1周年記念講演会の開催予定	京都高度情報化推進協議会と京都情報基盤協議会が組織統合し、平成18年6月8日設立  (*1)会員数は平成19年4月1日現在	
大阪地域大学間ネットワーク	ORIONS	--	--	--	--	--	--	http://edge.ee.tokushima-u.ac.jpはアクセス不可	--
関西ネットワーク相互接続協会	WINC	--	--	--	--	--	2007.11 関西 Community 大決戦に共催	1993.3 設立。	
神戸マルチメディア・インターネット協議会	KMIC	http://kmic.gr.jp/	2005.03.16	64	山田昭	アイクラフト(株)内(神戸市中央区)	2006.05.24 KMIC セミナー開催予定	--	--
中国・四国インターネット協議会	CSI	http://www.csi.ad.jp/	2008.04.21	88	理事長 椿康和	広島市中区	2008.03.15CSI ネットワークマスター虎の穴市民公開講座	1993.3 設立。 1999.9.21 特定非営利活動法人認証 (*1)1999.3.	

								1 時点 2009年5月 8 日時点で URL アクセス不可	
高知ネットワーク研究会	--	--	--	--	--	--	--	http://www.is.kochi-u.ac.jp/Kochi-INET/コンテンツ参照不可	--
高知シティ・サイズ・エリア・ネットワーク協議会	KCAN	http://www.kcan.ne.jp/	2003.02	43	浜田 純 南国市長	株式会社シティネット内	情報化セミナーを開催 (2005/2/26)	コミュニティ(地域)に密着したネットワークの構築を推進する協議会発足 : 1999年3月10日	--
KARRN 協会	KARRN	--	--	--	--	--	--	1992年5月発足 (http://www.ktarn.or.jp/jnl/jnl9902/dai1.htm) 2000.03.31頃解散	
久留米・鳥栖地域インターネット協議会	KTARN	http://www.ktarn.or.jp/jnl	2007	32(*1)	会長 関弘文 (久留米情報システム代表取締役社長)	--	2000年12月第4回インターネットフェスタ開催	(*1)H19年度. 98年プロバイダ事業切り離し	
長崎県インターネット協議会	--	--	--	--	--	--	--	--	
宮崎地域インターネット協議会	MAIS	http://www.mais.or.jp/	2005	11(*1)	会長 中崎 忍 (宮崎大学)	MAIS 事務局	2005年4月28日 MAIS 年会開催	(*1) 1994年発足	

沖縄インターネット協議会	OIA	<a href="http://www.oia.u-ryukyu.ac.jp/">http://www.oia.u-ryukyu.ac.jp/</a>	2007	--	会長 喜屋武盛基	琉球大学情報処理センター内	2008年2月23日 第102回 OIA 勉強会 開催	1996.12.23 発足	--
--------------	-----	---	------	----	----------	---------------	-----------------------------	---------------	----

## 注記

97.9.5 会議

<http://www.toyama-tic.co.jp/triton/report/kaigi1/sidai.html> 参照

## 調査結果のまとめ

WWW ページを見る限りにおいて、活動の活発の隔差が広がっていると思われます。(WWW ページ上、活発な協議会は実際の活動も活発と見てよい)

活動主体の比重:産・官・学のどこにあるかが協議会によって異なります

活動内容の方向が協議会により異なります。方向とは具体的には、ビジネス、教育、福祉、技術、地域の政治的な結びつき、などのことです。

## 考察

地域協議会によって、重視する活動が異なるので、参考となる対象協議会は、TIC の専門委員会によって異なると考えられます。

地域ネットワークは NPO 化する傾向が見られます。

WWW 上の広報が重要であることを改めて認識しました。TIC から外に向けて、リアルタイムの発信をすることにより、地域内外の人的な広がりが期待できます。

## 特記事項

この報告に訂正事項等ある場合、TIC WWW ページ(<https://www.tokai-ic.or.jp/>)に 掲載いたしません。

---

この報告についての連絡・問合せ先は、東海インターネット協議会事務局 (tic-sec@tokai-ic.or.jp) までお願いいたします。

## Spam 対策声明文

TIC では以下の 5 原則で spam 対策を行っています。

- spam を送ってはいけない
- spam を中継してはいけない
- spam を受け取ってはいけない
- spam をバウンスしてはいけない
- spam を通してはいけない

## TIC の spam 対策

TIC では MTA における spam 対策を行っています。

詳細は、<https://www.tokai-ic.or.jp/spam/> を参照ください

## 【お知らせ】

無料メールマガジンを 2005 年 7 月に発刊しました。<https://www.tokai-ic.or.jp/mmag/> から是非登録下さい。会員でない方も購読できます。(非営利イベント案内依頼などは、[mmag@tokai-ic.or.jp](mailto:mmag@tokai-ic.or.jp) まで。)

TIC Web ページ(<https://www.tokai-ic.or.jp/>) のデザインを更新しました。  
セミナー、イベントの案内は TIC Wiki <http://wiki.tokai-ic.or.jp/>  
TIC SNS(ソーシャルネットワーキングシステム)開設  
<http://202.41.218.246/> 参加希望は [sns@tokai-ic.or.jp](mailto:sns@tokai-ic.or.jp) まで。

発行日 2009 年 6 月 11 日  
発行者 特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 (理事長 中田 平)  
事務局 新 〒461-0011  
名古屋市東区白壁 3-12-13 (財)人工知能研究振興財団内  
E-mail: [tic-sec@tokai-ic.or.jp](mailto:tic-sec@tokai-ic.or.jp)  
TEL: 052-242-6070 FAX: 052-242-6071

Copyright 1994-2009 Tokai Internet Council. All Rights Reserved.

- ・いかなる媒体でも次の条件が満たされている場合に限り、本著作をそのまま複製して配布することを許可する。
- ・受領、配布された複製物に著作権表示および本許諾通知が含まれること。
- ・複製物の受領者が更に再配布する場合、その再配布者が本告知と同じ許可を与えていること。
- ・本著作の内容を変更しないこと。